



2023年11月6日

各 位

会社名太陽ホールディングス株式会社  
代表者名代表取締役社長佐藤英志  
(コード番号 4626 東京証券取引所 プライム市場)  
問合せ先執行役員経営企画室長富岡さやか  
(TEL 03-5953-5200 (代表))

## (訂正) 「2024年3月期 第1四半期 決算説明資料」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、2023年8月1日正午に発表した表記開示資料の一部に訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 訂正の理由

2023年8月1日に発表した「2024年3月期 第1四半期 決算説明資料」のうち、「セグメント別業績」(6ページ)において、数値、表記の誤りがありましたので、訂正を行うものです。

#### 2. 訂正の内容

「セグメント別業績」(6ページ)

エレクトロニクス事業のEBITDAにおいて、エレクトロニクス事業に配分すべき償却費が全社費用に含まれておりましたので、EBITDA及びEBITDAマージンを訂正いたしました。

詳細については、別紙をご参照ください。訂正箇所は、赤い下線で示しております。

以上

## セグメント別業績

		セグメント別売上高・営業利益・EBITDA					
		単位：百万円					
		①	②	②-①	(②-①)÷①	③	④÷③
		2023年3月期 1Q 実績	2024年3月期 1Q 実績	前年同期比	増減率	2024年3月期 上半期 業績予想 (5月1日発表)	進捗率
エレキ 事業	売上高	19,293	15,703	△3,589	△19%	32,600	48%
	営業利益	5,197	2,642	△2,555	△49%	6,600	40%
	営業利益率	27%	17%			20%	
	EBITDA	5,774	3,202	△2,572	△45%	7,800	41%
	EBITDAマージン	30%	20%			24%	
医薬 事業	売上高	5,678	7,335	1,657	29%	14,700	50%
	営業利益	482	751	268	56%	900	83%
	営業利益率	8%	10%			6%	
	EBITDA	1,613	2,059	445	28%	3,700	56%
	EBITDAマージン	28%	28%			25%	
ICT&S 事業	売上高	786	822	35	5%	-	-
	営業損益	△7	18	25	-	-	-
	営業利益率	△1%	2%			-	-
全社費用	営業損益	△336	58 <sup>※1</sup>	395	-	-	-

※1 のれんの計上金額を変更したことにより、過年度ののれん償却額を修正しました。  
Copyright © TAIYOHOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

太陽ホールディングス 6

【訂正後】

## セグメント別業績

※2023年11月6日変更  
エレキ事業に配分すべき償却費が全社費用に計上されていたため  
下部のEBITDA及びEBITDAマージンを修正しました。

		セグメント別売上高・営業利益・EBITDA					
		単位：百万円					
		①	②	②-①	(②-①)÷①	③	④÷③
		2023年3月期 1Q 実績	2024年3月期 1Q 実績	前年同期比	増減率	2024年3月期 上半期 業績予想 (5月1日発表)	進捗率
エレキ 事業	売上高	19,293	15,703	△3,589	△19%	32,600	48%
	営業利益	5,197	2,642	△2,555	△49%	6,600	40%
	営業利益率	27%	17%			20%	
	EBITDA	5,774	3,284	△2,489	△43%	7,800	42%
	EBITDAマージン	30%	21%			24%	
医薬 事業	売上高	5,678	7,335	1,657	29%	14,700	50%
	営業利益	482	751	268	56%	900	83%
	営業利益率	8%	10%			6%	
	EBITDA	1,613	2,059	445	28%	3,700	56%
	EBITDAマージン	28%	28%			25%	
ICT&S 事業	売上高	786	822	35	5%	-	-
	営業損益	△7	18	25	-	-	-
	営業利益率	△1%	2%			-	-
全社費用	営業損益	△336	58 <sup>※1</sup>	395	-	-	-

※1 のれんの計上金額を変更したことにより、過年度ののれん償却額を修正しました。  
Copyright © TAIYOHOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

太陽ホールディングス 6

# 2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

2023年8月1日

2023年11月6日 P6変更



本資料の如何なる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社は一切責任を負うものではありません。



# 当社グループの報告セグメント

## エレクトロニクス事業 (エレキ事業)

プリント基板（PCB）用部材を始めとする電子部品用化学品部材の開発・製造販売及び仕入販売



## 医療・医薬品事業 (医薬事業)

医療用医薬品の製造販売・製造受託



## ICT&S事業※1

ICT事業、ファインケミカル事業、エネルギー事業及び食糧事業等



※1 第1四半期連結会計期間より、「その他事業」の名称を「ICT&S事業」に変更しました。  
変更はセグメントの名称のみであり、セグメントを構成する子会社に変更はありません。

# その他事業 → ICT&S事業 セグメント名称変更

- ✓ ICT&S事業のSは、Sustainability（サステナビリティ）であり、今後も当社はサステナビリティに関して積極的な取り組みを行います。
- ✓ セグメント名称変更に伴う事業内容の変更はありません。

	2023年3月期 以前	2024年3月期 以降
セグメント名称	その他事業	ICT&S事業
事業内容 (変更なし)	<ul style="list-style-type: none"><li>• ICT</li><li>• ファインケミカル</li><li>• エネルギー</li><li>• 食糧</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ICT</li><li>• ファインケミカル</li><li>• エネルギー</li><li>• 食糧</li></ul>

# 2024年3月期1Q トピックス

## エレキ事業

- 売上高は、前年同期比で19%減少  
主要因
  - ・ PKG：メモリ向け製品を中心に需要が低下し販売数量が減少
  - ・ リジッド：車載関連以外の部材は、最終需要の減少により販売数量が減少
  - ・ 円安に推移したことにより業績にプラスの影響  
当期期中平均為替レート：1米ドル138.1円  
前年同期期中平均為替レート：1米ドル129.0円
- 「低ロス感光性層間絶縁フィルム」第19回 JPCA賞（アワード）を受賞

## 医薬事業

- 売上高は、前年同期比で29%増加  
主要因
  - ・ 製造受託事業におけるプロダクトミックスの変化や原材料、エネルギー等の価格高騰に伴う販売価格の改定による増加
  - ・ アルツハイマー型認知症治療剤「レミニール<sup>®</sup>」の譲受による増加
  - ・ 他社同効薬等の供給不足に伴う需要の増加

## ICT&S事業

- その他事業からICT&S事業にセグメント名称変更

## 全社

- ESG指数「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」構成銘柄に選定

# 連結業績

## 連結業績サマリ

単位：百万円

	①	②	②-①	(②-①)÷①	③	②÷③	④	②÷④
	2023年3月期 1Q 実績	2024年3月期 1Q 実績	前年 同期比	増減率	2024年3月期 上半期 業績予想 (5月1日発表)	進捗率	2024年3月期 通期 業績予想 (5月1日発表)	進捗率
売上高	<b>25,757</b>	<b>23,861</b>	△1,895	△7%	<b>49,200</b>	48%	<b>101,700</b>	23%
営業利益	<b>5,335</b>	<b>3,470</b>	△1,865	△35%	<b>6,500</b>	53%	<b>15,100</b>	23%
経常利益	<b>5,119</b>	<b>3,235</b>	△1,883	△37%	<b>6,400</b>	51%	<b>14,700</b>	22%
親会社株主に帰属 する当期純利益	<b>3,619</b>	<b>2,561</b>	△1,058	△29%	<b>4,500</b>	57%	<b>10,000</b>	26%
円・USDレート	129.0	138.1	9.1		135.0		135.0	
EBITDA	<b>7,283</b>	<b>5,633</b>	△1,650	△23%	<b>11,000</b>	51%	<b>24,300</b>	23%
営業利益率	21%	15%			13%		15%	
EBITDA マージン	28%	24%			22%		24%	

# セグメント別業績

\*2023年11月6日変更

エレキ事業に配分すべき償却費が全社費用に計上されていたため  
下線部のEBITDA及びEBITDAマージンを修正しました。

## セグメント別売上高・営業利益・EBITDA

単位：百万円

	①	②	②-①	(②-①)÷①	③	②÷③	
	2023年3月期 1Q 実績	2024年3月期 1Q 実績	前年同期比	増減率	2024年3月期 上半期 業績予想 (5月1日発表)	進捗率	
エレキ 事業	売上高	19,293	15,703	△3,589	△19%	32,600	48%
	営業利益	5,197	2,642	△2,555	△49%	6,600	40%
	営業利益率	27%	17%			20%	
	EBITDA	5,774	3,284	△2,489	△43%	7,800	42%
	EBITDAマージン	30%	21%			24%	
医薬 事業	売上高	5,678	7,335	1,657	29%	14,700	50%
	営業利益	482	751	268	56%	900	83%
	営業利益率	8%	10%			6%	
	EBITDA	1,613	2,059	445	28%	3,700	56%
	EBITDAマージン	28%	28%			25%	
ICT&S 事業	売上高	786	822	35	5%	-	-
	営業損益	△7	18	25	-	-	-
	営業利益率	△1%	2%			-	-
全社費用	営業損益	△336	58 <sup>※1</sup>	395	-	-	-

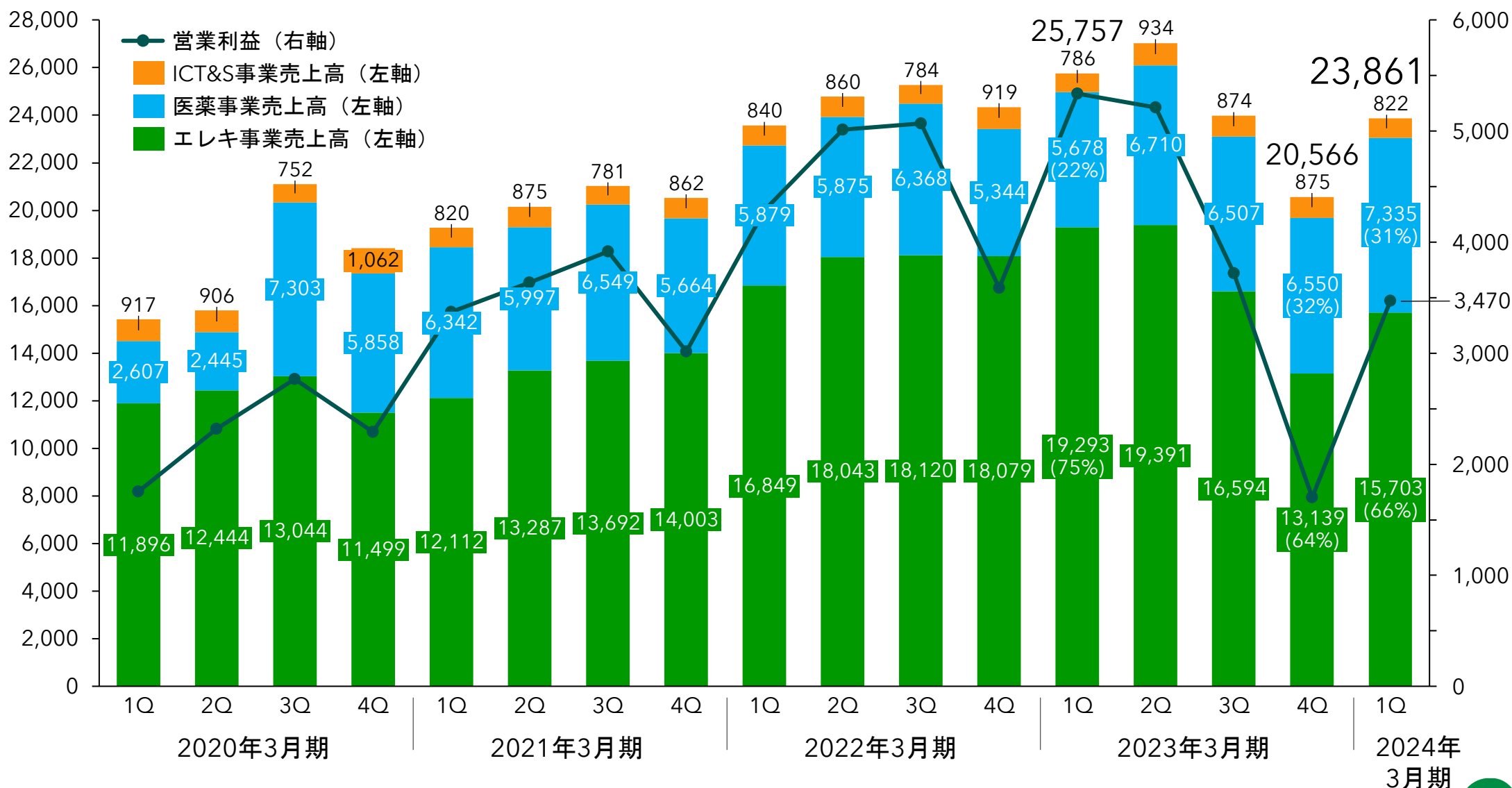
※1 のれんの計上金額を変更したことにより、過年度ののれん償却額を修正しました。



# 四半期別推移

## 四半期別推移：売上高・営業利益

単位：百万円



# BSの概況

## BS前期比較

単位：百万円

	23/3末	23/6末	増減		23/3末	23/6末	増減
現金及び預金	47,121	43,933	△3,187	支払手形及び買掛金	6,513	8,886	2,373
受取手形及び売掛金	22,734	25,334	2,600	短期借入金 <sup>※2</sup>	18,327	21,604	3,277
棚卸資産 <sup>※1</sup>	14,976	15,265	289	長期借入金	53,174	51,240	△1,933
上記以外	5,217	3,900	△1,317	上記以外	16,508	15,171	△1,337
<b>流動資産合計</b>	<b>90,050</b>	<b>88,434</b>	△1,616	<b>負債合計</b>	<b>94,523</b>	<b>96,903</b>	2,380
有形固定資産	60,401	62,874	2,472	株主資本	86,098	85,753	△344
無形固定資産	29,170	32,076	2,905	その他の包括利益 累計額	6,637	8,778	2,140
投資その他の資産	7,640	8,054	414	非支配株主持分	3	3	0
<b>固定資産合計</b>	<b>97,212</b>	<b>103,005</b>	5,792	<b>純資産合計</b>	<b>92,739</b>	<b>94,536</b>	1,796
<b>資産合計</b>	<b>187,263</b>	<b>191,439</b>	4,176	<b>負債純資産合計</b>	<b>187,263</b>	<b>191,439</b>	4,176
				<b>自己資本比率</b>	49.5%	49.4%	△0.1%

※1 棚卸資産：商品及び製品+仕掛品+原材料及び貯蔵品

※2 短期借入金：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

# ESG指数「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」

## 構成銘柄に選定

- ✓ 太陽ホールディングスは、性別多様性に優れた企業を対象としたMSCI日本株女性活躍指数（WIN）※<sup>1</sup>の構成銘柄に選定されました。2020年12月に初めて構成銘柄に選定され、今回は6回目の選定となりました。

2023 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN) ※<sup>2</sup>

### 女性活躍推進に向けた取り組み

- 女性人材の活用

管理職全体に占める女性比率：20.8%（2023年3月末時点）

取締役会の女性比率：41.7%（2023年6月末時点）

- 育児や介護を対象とした支援制度
- 事業所への保育所併設
- フレックスタイム制の導入



※<sup>1</sup> 米国の大手金融サービス企業であるMSCI社が開発したESG指数の一つであり、時価総額上位700銘柄を対象に、女性管理職比率や新規採用者に占める女性比率など、性別多様性に関する開示情報をもとに優れた企業を選定するものです。

※<sup>2</sup> 太陽ホールディングスのMSCIインデックスへの採用、および、MSCIロゴ、商標およびインデックス名の使用に際し、MSCIやその関係会社は太陽ホールディングスへの資金提供や保証あるいは販売促進を行うものではありません。MSCIインデックスの排他的独占所有権はMSCIにあります。MSCI、MSCIインデックスの名称およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標です。

# エレクトロニクス事業

# エレクトロニクス事業

## 用語説明

用語	内容
PCB (Printed Circuit Board)	プリント基板
SR (Solder Resist)	ソルダーレジスト（レジストインキ）
PKG (Package)	半導体パッケージ
DF (Dry Film)	ドライフィルム
BU (Build-up)	ビルドアップ

# エレクトロニクス事業

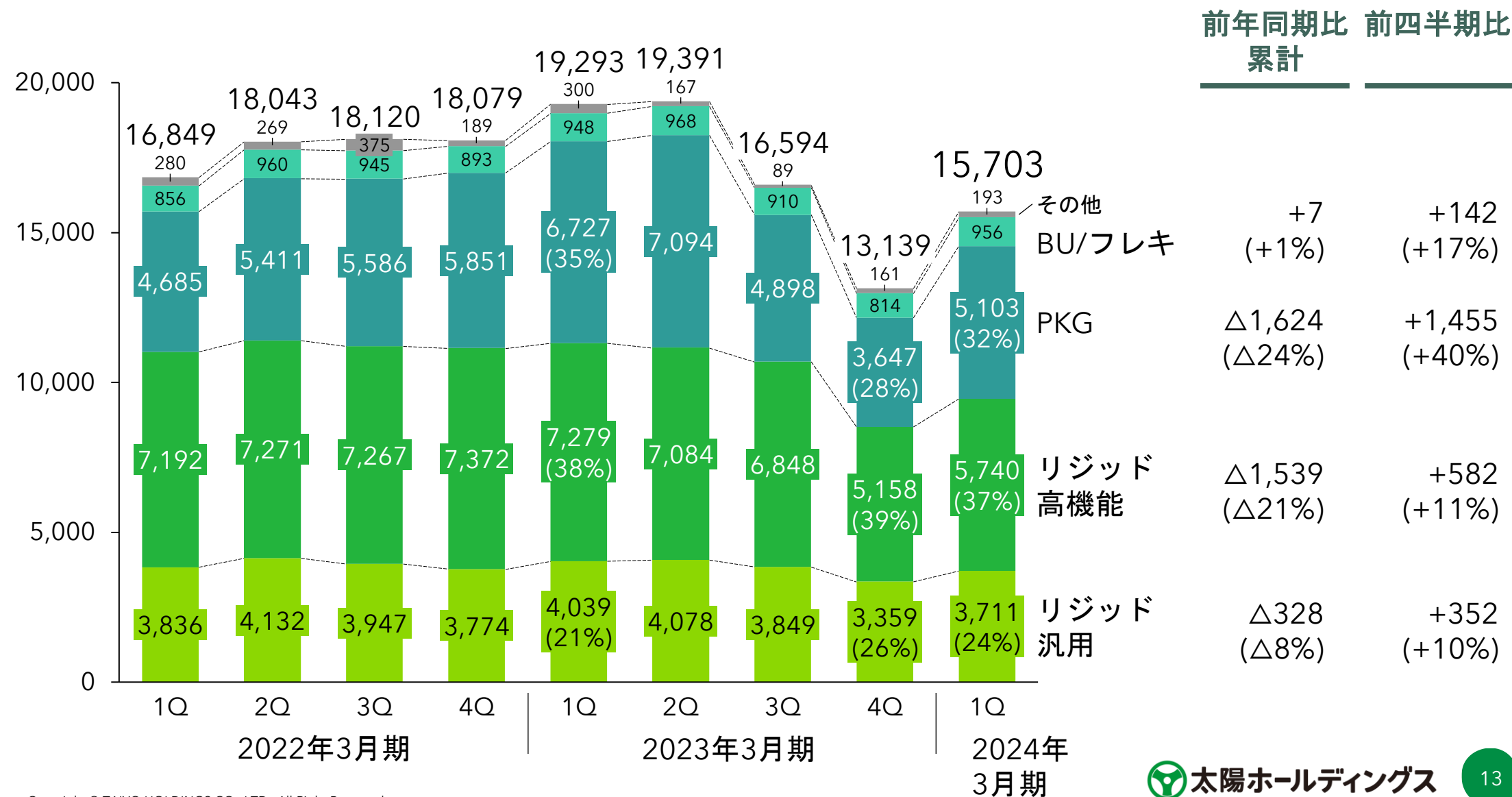
## 製品分野

分野	分類		性状	用途
PCB用 絶縁材料	リジッド	汎用品	液状	表層保護・絶縁用SR材料 マーキング・エッチング・めっき用材料 電子機器用材料 等
		高機能品	液状／DF	
	PKG		液状／DF	
	フレキ		液状／DF	
	BU		液状／DF	
その他 関連商材	その他		液状	導電性銀ペースト 等

# エレクトロニクス事業

## 製品別売上高

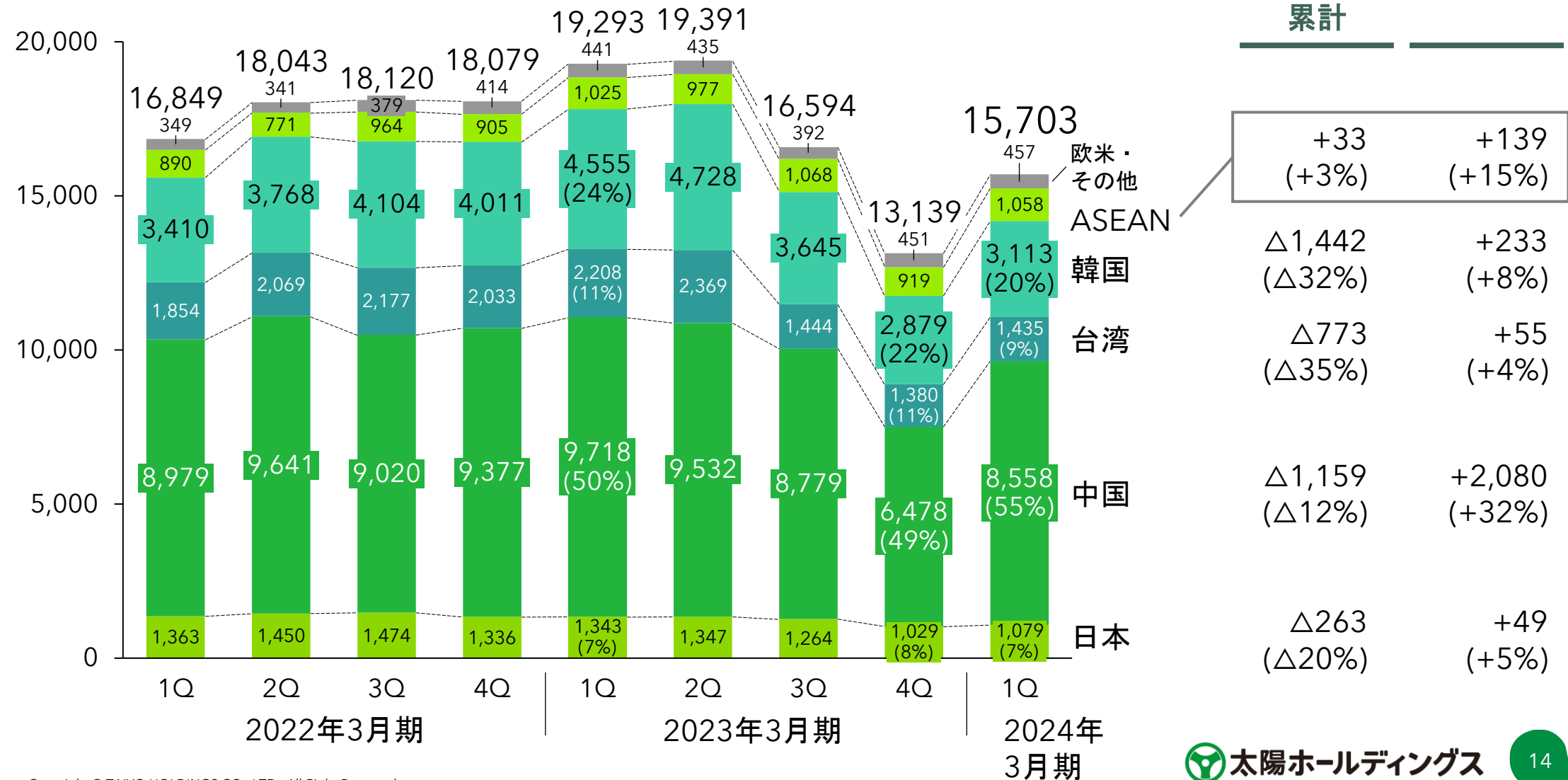
単位：百万円



# エレクトロニクス事業

## 販売地域別売上高

単位：百万円





# 「低ロス感光性層間絶縁フィルム」

## 第19回 JPCA賞（アワード）を受賞

- ✓ 太陽インキ製造は、本DFに関して、電気信号の伝達障害を抑えつつ、理想的な再配線用層間絶縁材の特性を満たしていることが評価され、一般社団法人日本電子回路工業会（以下、JPCA）より第19回JPCA賞（アワード）を受賞しました。
- ✓ 太陽インキ製造によるJPCA賞（アワード）の受賞は、4年連続となります。

### 「低ロス感光性層間絶縁フィルム」の特長

低ロス

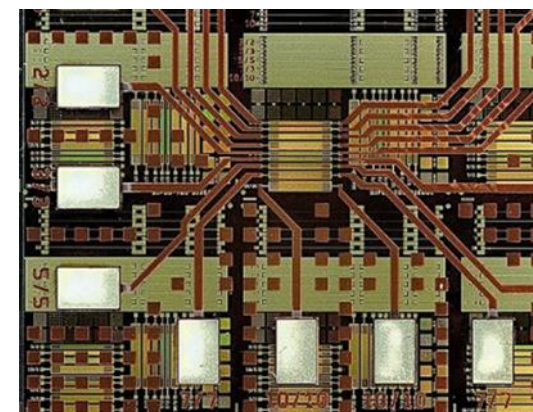
X

理想的な  
再配線用  
層間  
絶縁材

- 電気信号の伝達障害低減
- DFであり、表面平滑性良好
- 感光性材料であり、微細パターンを一括形成可能
- 硬化時の反りが発生せず、積層や実装時における製品不良発生率が低い
- 配線形成時の無電解銅めっきとの密着性が良好



本DF外観



本DFを用いて形成した  
モジュール外観

# 医療・医薬品事業

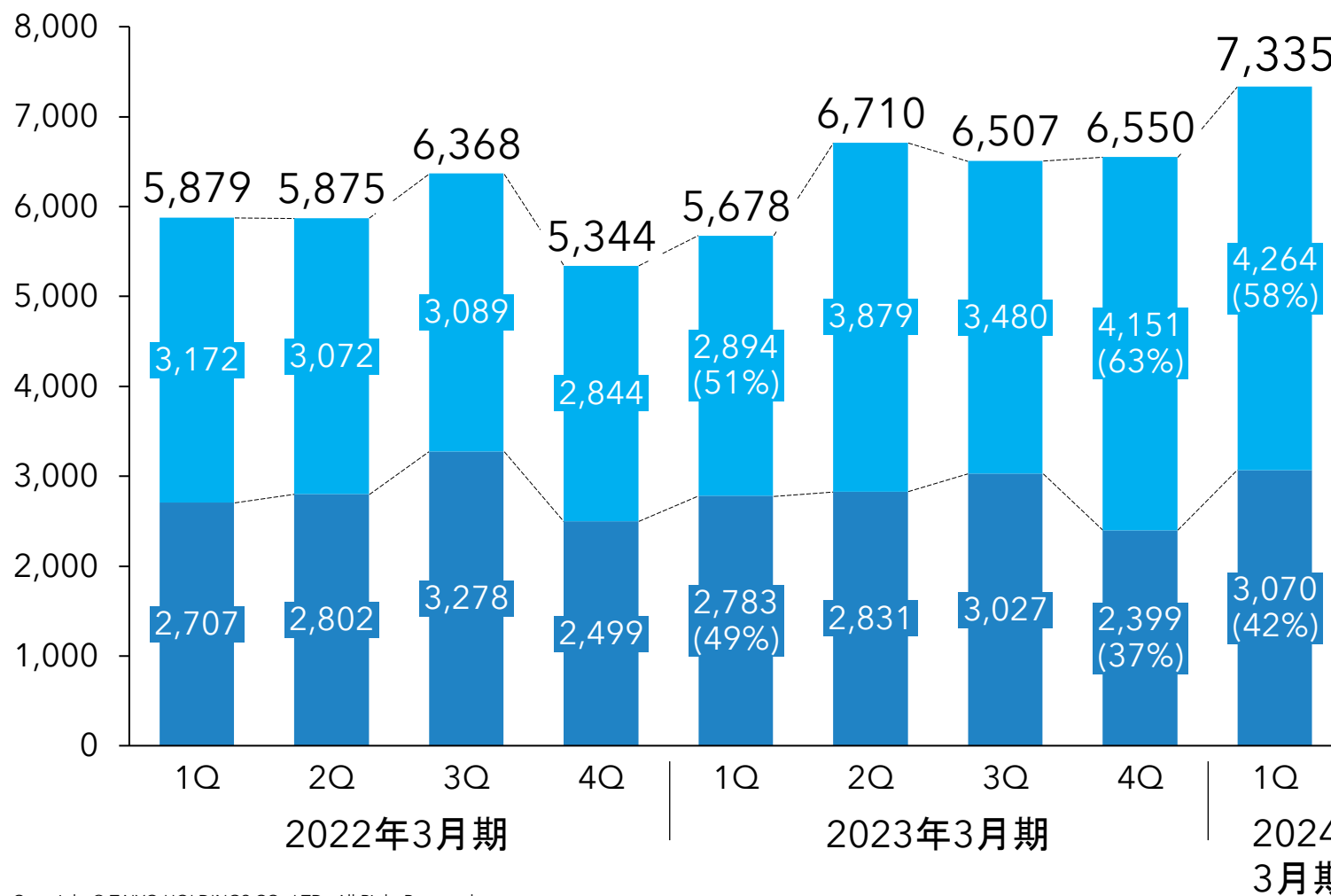
## 用語説明

用語	内容
長期収載品	新薬として発売された後に特許期間もしくは再審査期間が終了し、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の販売が可能となっている先発品
CDMO	医薬品製造及び医薬品製剤開発を受託する機関 (Contract Development Manufacturing Organization)
GMP	医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準 (Good Manufacturing Practice)

# 医療・医薬品事業

## 会社別売上高

単位：百万円



	前年同期比 累計	前四半期比 累計
医薬事業 全体	+1,657 (+29%)	+784 (+12%)
太陽 ファルマ テック (製造受託)	+1,369 (+47%)	+113 (+3%)
太陽 ファルマ (製造販売)	+287 (+10%)	+671 (+28%)

